

認知症治療研究会会誌 第2巻第1号 2015年10月

目次

発刊の言葉

科学が危険にさらされているこの時代に楔を打ち込むために……………	河野 和彦……………	1
----------------------------------	------------	---

総説

認知症薬物療法のシステム化……………	河野 和彦……………	3
--------------------	------------	---

論文

基底核に石灰化のある認知症の病状と治療反応性 —DNTC 類似疾患の認知症状, 臨床病型, 治療法— ……………	岩田 明……………	32
ドネペジルの副作用をとりまく問題点……………	木村 武実……………	41
認知症医療・介護に於ける多職種連携の現状と課題……………	三俣 喜儀……………	44
介護老人保健施設における BPSD 治療の試み —少量薬物療法の実践とその先に見えてきたもの—……………	萩原 秀男ほか……………	50
意識障害に対するリバスチグミンの効果……………	平川 亘……………	62
認知症治療におけるリバスチグミンの至適用量……………	平川 亘……………	69

症例報告：ドネペジルの副作用から回復できた症例

ドネペジル 10 mg で誘発された精神症状が, ラモトリギン 25 mg とクロナゼパム 0.5 mg で 劇的に改善した軽度認知障害, 薬剤誘発性てんかんと思われる 1 例……………	中坂 義邦……………	76
意識消失とドネペジルの関与 —救急医の立場から—……………	土田 英司……………	78
ドネペジルの副作用から回復できた症例……………	小早川裕之……………	80
落ちつかせてからリバスチグミンを投入した LPC ……………	白土 綾佳……………	82
ドネペジル中止により回復したピック病……………	福田 員茂……………	83
陽性症状には, まずドネペジルを中止することから始まると認識させられた 2 症例……………	中嶋 一雄……………	85

症例報告：ほかの向精神薬が効かずクロルプロマジンが著効した症例

抗うつ薬を中止して落ち着かせた LPC ……………	白土 綾佳……………	87
糖尿病を管理できなくなったピック病にクロルプロマジンが奏功した症例……………	小早川裕之……………	88
クロルプロマジン 36 mg で陽性症状が制御できた高齢のレビー小体型認知症 ……………	福田 員茂……………	90
前医の抗精神病薬をクロルプロマジンにかえて落ち着いた 3 症例……………	中嶋 一雄……………	92

認知症医療における医師や医療に対する不満

アリセプト増量の副作用による問題行動の出現で在宅介護に苦勞されている事例……………	小坂美代子……………	94
不適切な診断でアリセプト 5 mg を処方され 6 年間介護に苦しんだ事例……………	小坂美代子……………	95
認知症医療における医師や医療に対する不満……………	川崎 寿恵……………	96
患者側のメディカルリテラシー向上が医療を動かす……………	長田 義弘……………	97
嘱託医や看護師の勉強不足から介護困難が発生する……………		98
認知症の方への偏見や差別を助長させる医師と看護師……………		99
典型的な症状があっても年のせいにする医師……………	高林 陽子……………	100

参加者の感想

第1回認知症治療研究会に参加して	松本 明男	101
コウノメソッドなら診断も治療も上手にできるはず	西條 由理	102
第1回認知症治療研究会を終えて	松崎 一代	103
認知症治療研究会 会則		104
認知症治療研究会 細則		106
認知症治療研究会 雑誌投稿規定		107
あとがき		